

## 申し入れ・質問書

新江東清掃工場長 様

2012年3月19日

放射能を考える下町ネットワーク  
江戸川区東小岩4-12-8(五十嵐方)  
03-5879-6809

私たちは江戸川・江東・葛飾区を中心に下町地域で、「子ども達を放射能から守ろう」を合い言葉に活動してきました。今回受け入れられる宮城県女川町の災害廃棄物(以下がれき)は、少なくとも放射性セシウムで133ベクレル/kgの汚染が確認されているとの説明がなされました。放射性廃棄物レベルの汚染です。

私たちはがれき受け入れ・焼却に反対です。以下の申し入れ・質問事項に対して、概ね1週間以内に文書による誠実な回答をお願い致します。

### 記

- 1、今回のがれき受け入れは明らかに放射性物質の移動(拡散)となり問題です。ただちに中止してください
- 2、女川町長は「がれきが民有地に仮置きされていて復興できない」と言いますが、同町長は住民に「高台移転」を呼びかけており(2/26 毎日新聞)矛盾しています。女川町・石巻市などが地元で設備をつくり処理すれば、被災自治体に国からの予算が下りるはずですが、それを東京都などが「横取り」してしまうような広域処理は「復興支援」にならないと考えます。見解をお聞かせください
- 3、133ベクレル/kgのがれきを焼却した場合、これまで以上の濃縮が起こると考えられますが、いかがですか
- 4、今ですら飛灰などから1500ベクレル/kg近い放射性物質が検出されており心配です。少なくとも通常のごみが放射性廃棄物レベル(100ベクレル/kg以上)とは考えられません。貴工場における、焼却前のごみの放射性物質による汚染状況の各測定時の推移はどうなっていますか
- 5、職員、子供たち、周辺住民が心配です。再度の検証を行われることを強く要望します

以上